

## 平成 23 年度

(社) 日本技術士会東北支部 応用理学部会

### 定 期 総 会 資 料

日時：平成 23 年 5 月 13 日 (金) 16 時 00 分～17 時 00 分

場所：仙台ビジネスホテル 2 階 第 2 会議室

仙台市青葉区上杉 1 丁目 4 - 2 5

TEL 022-261-5711

### 総会次第

#### 1. 総会議事 16 時 00 分～17 時 00 分

##### (1) 開会宣言

(議長選出)

##### (2) 議事

①平成 22 年度活動報告

②平成 22 年度会計報告

③監査報告

④役員改選

⑤平成 23 年度活動計画 (案)

⑥平成 23 年度会計予算 (案)

⑦その他

##### (3) 閉会宣言

#### 2. 意見交換会 17 時 15～19 時 15 分

場所： さなぶり (仙台市青葉区上杉一丁目 2 番 1 6 号

J Aビル宮城地下 1 F TEL:022-264-8710 )

会費： 4,000 円 (予定)

## 1. 平成 22 年度活動報告

### 1.1 部会会員数

東北支部応用理学部会 正会員 84 名 (平成 23 年 3 月現在)

### 1.2 活動報告

①総会：平成 22 年 5 月 14 日(金)14 時 00 分～14 時 50 分

特別講演：15 時 00 分～17 時 00 分

テーマ：「表層土壌における土壌汚染物質の動態」

東北大学大学院環境科学研究科 教授 井上千弘氏

資料代：1,000 円

意見交換会：17 時 45 分～19 時 45 分、会費 4,000 円

②平成 22 年度見学会：参加者 18 名

テーマ：岩手宮城内陸地震のその後～発生メカニズムと災害復旧～

日時：平成 22 年 7 月 30 日(金) 10:00～16:00

見学場所：宮城県栗原市 荒砥沢ダムおよび周辺地域の

地すべり・大規模崩壊

案 内：東北森林管理局宮城北部森林管理署

宮城山地災害復旧対策室長 江坂 文寿氏

参加費：会員・非会員とも 5,000 円

(マイクロバス代、資料代、昼食代)

③研修会：参加者 23 名(講師除く)

テーマ：公共の科学技術発展のための技術者の役割

～最近の科学技術と地域づくりに期待される科学者・技術者の役割～

日時：平成22年11月12日(金)15時00分～17時00分

会場：(株)ユアテック 3F A会議室

講師：大草芳江氏(有限会社 FIELD AND NETWORK 取締役、

NPO 法人 ナチュラルサイエンス理事)

参加費： 会員・非会員・一般 1000 円

④役員会 平成 22 年 4 月 23 日(金)、5 月 14 日(金)、6 月 11 日(金)、8 月 20 日(金)、9 月 10 日(金)、10 月 8 日(金)、11 月 12 日(金)、12 月 10 日(金)、2 月 18 日(金)

(太字は技術サロン開催日)

⑤地震防災 WG

- ・パンフレット「地震から身を守る～マイマップのすすめ～」の印刷配布（宮城県技術士会と連携）

⑥東北福祉大とのパートナーシップ協約にもとづく活動

防災ボランティアセンター主催

「地震・津波につよいまちづくり実行委員会活動」：委員 守屋副部長

⑦ 技術サロン：4回開催；参加者延べ45名

- ・中央市民センター、旭ヶ丘市民センターほか

6月～12月隔月第2金曜日（8月は第3）；18時～20時30分

会費 1000円/回

6/11, 8/20/, 10/8, 12/10 実施

・第1回 平成21年6月11日（金）

- 1) 新聞等に見る2010.2.28の津波

中里俊行氏（(有)ジオテクノ中里産業）

- 2) 環境砂防への取り組み

押見和義氏（(株)復建技術コンサルタント）

・第2回 平成21年8月20日（金）

- 1) H20岩手・宮城内陸地震のトレンチ調査見学報告

黒墨秀行氏（(株)総合土木コンサルタンツ）

- 2) 斜面崩壊の要因と降雨の関係

今野隆彦氏（(有)ジオプランニング）

・第3回 平成21年10月8日（金）

- 1) 岩手県久慈地域の地質と琥珀

三浦 隆氏（(株)パスコ）

- 2) ニュージーランドの地すべり（IAEG2010参加報告）

今野隆彦氏（(有)ジオプランニング）

・第4回 平成21年12月10日（金）

- 1) ボアホールカメラを利用した岩盤の評価

佐々木孝幸氏（佐々木ボーリング工業）

- 2) ニュージーランド北島地質巡検～火山と活断層による変動地形～

中里俊行氏（(有)ジオテクノ中里産業）

## 2. 平成22年度会計報告

応用理学部会 平成22年度 会計決算(案)

2010/4/6現在

	決算	H22年度予算	対比
総収入	637,150	509,177	127,973
総支出	574,028	469,177	104,851
繰越金	63,122	40,000	23,122

### 【収入の部】

科目		決算	H22年度予算	対比	摘要
H21年度繰越金	H22年度繰越金	34,145	34,145	0	
支部交付金	支部交付金	100,000	100,000	0	
	小計	134,145	134,145	0	
事業収入	総会	87,000	40,000	47,000	交流会費、特別講演資料代
	見学会	90,000	40,000	50,000	参加費
	技術サロン	45,000	40,000	5,000	4回開催、会費1000円
	研修会	71,000	70,000	1,000	参加費、交流会費
	地震防災WG活動	0	10,000	△ 10,000	
	パンフレット印刷費	105,000	105,000	0	宮城県技術士会より10.5万円
	パンフレット頒布金	105,000	50,000	55,000	NPO防災・減災サポートセンター
雑収入	雑収入	5	20,032	△ 20,027	銀行利息
	小計	503,005	375,032	127,973	
総収入		637,150	509,177	127,973	

### 【支出の部】

科目		決算	H22年度予算	対比	摘要
事業費	総会	102,400	70,000	32,400	講師謝礼、交流会費ほか
	見学会	104,210	20,000	84,210	謝礼、資料印刷費ほか
	技術サロン	46,683	60,000	△ 13,317	4回開催、会場費ほか
	研修会	82,000	42,000	40,000	謝礼、交流会会費ほか
	地震防災WG活動	0	2,000	△ 2,000	
	パンフレット印刷費	210,000	210,000	0	
	小計	545,293	404,000	141,293	
管理費	会議費	6,960	20,000	△ 13,040	幹事会会場費
	通信費	21,525	25,000	△ 3,475	HP管理費
	事務雑費	250	5,000	△ 4,750	
	予備費	0	15,177	△ 15,177	
	小計	28,735	65,177	△ 36,442	
総支出		574,028	469,177	104,851	

注) 対比は予算を基準として示した。

対比 = (決算) - (予算) マイナスは△で表示

### 3. 監査報告

## 監 査 報 告 書

平成 22 年度の事業および会計を，帳簿ならびに証拠書類により監査した結果，相違なく，適正に処理されていることを確認しました。

平成 23 月 4 月 日

(社) 日本技術士会東北支部 応用理学部会

監事

印

4. 役員改選

平成 23、24 年度役員案

平成23年度 応用理学部会役員名簿(案)			
役職	氏名	所属	H23担当 備考
部会長	滝田良基	(株)ニュージェック	新
副部会長	中里俊行	(有)ジオテクノ中里産業	
副部会長	黒墨秀行	(株)総合土木コンサルタンツ	岩手 新
代表幹事	今野隆彦	(有)ジオプランニング	総務・会計
幹事	大友秀夫	東北ボーリング(株)	行事
幹事	尾崎裕司	日本工営(株)	広報
幹事	押見和義	(株)復建技術コンサルタント	行事
幹事	谷藤允彦	新協地水(株)	福島
幹事	中村光作	新和設計(株)	広報
幹事	新沼正彦	(株)東北基礎調査	青森
幹事	本田忠明	NPO法人 防災・減災SC	総務・会計
幹事	三苫 寛	ジオテックコンサルタンツ(株)	秋田
監事	守屋資郎	(株)パスコ	新
顧問	羽竜忠男	北光ジオリサーチ(株)	
顧問	佐藤一夫	NPO法人 防災・減災SC	新

## 5 . 平成 23 年度 活動計画 (案)

### ①総会 : 平成 22 年 5 月 13 日(金)

総会 16 時 00 分～17 時 00 分

意見交換会 17 時 15 分～19 時 15 分

会費 4,000 円

### ②研修会 : 平成 23 年 7 月 8 日 (金) 15 : 00～17 : 00

テーマ : (仮) みちのく GIDAS の現状と課題

講演 : みちのく GIDAS 運営協議会 東北大学大学院工学研究科  
地盤工学研究科 森 友宏氏  
(株)テクノ長谷 布原啓史氏

### ③平成 23 年度見学会

テーマ:東北中央自動車道栗子トンネル見学会

日時 : 平成 23 年 10 月 7 日 (金)

見学場所 : 栗子トンネル

共催 (予定) : (社)福島県地質調査業協会

### ④役員会

平成 22 年 4 月 22 日(金)、5 月 13 日 (金)、6 月 10 日 (金)、8 月 19 日 (金)、  
9 月 9 日 (金)、10 月 14 日 (金)、11 月 11 日 (金)、12 月 9 日 (金)、  
2 月 17 日 (金)

(太字は技術サロン開催日)

### ⑤地震防災 WG

- ・ 出前講座
- ・ パンフレット「地震から身を守る～マイマップのすすめ～」の印刷配布 (宮城県技術士会と連携)

### ⑥東北福祉大とのパートナーシップ協約にもとづく活動

防災ボランティア支援室主催

「地震・津波につよいまちづくり実行委員会活動」: 委員 守屋氏

東北福祉大 講師 守屋氏

### ⑦ 技術サロン : 4 回開催・・・市民センター他の公共施設

6 月～12 月隔月第 2 金曜日 (8 月は第 3); 18 時～20 時 30 分  
会費 1000 円/回

6/10, 8/19, 10/14, 12/9 開催予定

## 6. 平成 23 年度 会計予算 (案)

応用理学部会 平成23年度 会計予算(案)					2011/4/6現在
		H23年度予算	H22年度決算	対比	
総収入		613,127	637,150	△ 24,023	
総支出		563,127	574,028	△ 10,901	
繰越金		50,000	63,122	△ 13,122	
<b>【収入の部】</b>					
科目		H23年度予算	H22年度決算	対比	摘 要
H21年度繰越金	H22年度繰越金	63,122	34,145	28,977	
支部交付金	支部交付金	100,000	100,000	0	
小計		163,122	134,145	28,977	
事業収入	総会	40,000	87,000	△ 47,000	交流会費
	見学会	60,000	90,000	△ 30,000	参加費
	技術サロン	40,000	45,000	△ 5,000	4回開催、会費1000円
	研修会	100,000	71,000	29,000	参加費、交流会費
	地震防災WG活動	0	0	0	
	パンフレット印刷費	105,000	105,000	0	宮城県技術士会より10万円
雑収入	雑収入	5	5	0	
小計		450,005	503,005	△ 53,000	
総収入		613,127	637,150	△ 24,023	
<b>【支出の部】</b>					
科目		H23年度予算	H22年度決算	対比	摘 要
事業費	総会	50,000	102,400	△ 52,400	交流会費ほか
	見学会	80,000	104,210	△ 24,210	謝礼、資料印刷費ほか
	技術サロン	40,000	46,683	△ 6,683	4回開催、会場費ほか
	研修会	110,000	82,000	28,000	謝礼、交流会会費ほか
	地震防災WG活動	10,000	0	10,000	
	パンフレット印刷費	210,000	210,000	0	
	小計	500,000	545,293	△ 45,293	
管理費	会議費	10,000	6,960	3,040	幹事会会場費
	通信費	25,000	21,525	3,475	HP管理費
	事務雑費	1,000	250	750	
	予備費	27,127	0	27,127	
小計		63,127	28,735	34,392	
総支出		563,127	574,028	△ 10,901	

注) 対比は前年決算を基準として示した。

対比 = (H22 予算) - (H21 決算)      マイナスは△で表示

以上



## (社) 日本技術士会 東北支部 応用理学部会 規約

平成 15 年 4 月 11 日制定

平成 17 年 6 月 10 日改正

平成 18 年 5 月 12 日改正

平成 20 年 5 月 8 日改正

### 第 1 条 名 称

本部会は「社団法人 日本技術士会(以下、技術士会)東北支部 応用理学部会」(略称「東北応用理学部会」と称する。

### 第 2 条 目 的

本部会は、

- 1) 専門技術の観点から技術士会に協力する。
- 2) 技術士の職業倫理の確立と地位の向上を図る。
- 3) 部会員の技術の向上を図る。
- 4) 部会員相互の親睦を図る。
- 5) 専門技術を通し地域社会へ貢献する。

こと等を目的とする。

### 第 3 条 部 会 員

部会は、応用理学部門に合格した技術士会会員および準会員をもって構成する。

### 第 4 条 役 員

本部会は、上記目的を達成するため、次の各号に掲げる役員を置き円滑な部会の運営にあたる。

部会長	1 名
副部会長	2 名
幹事	若干名
監事	1 名

本部会は顧問を置くことができる。顧問は、本部会活動の活発化および円滑な運営を図るため、第 7 条で規定する会議に出席し、意見を述べることができる。

役員任期は 1 期 2 年とし、再任を妨げない。ただし、部会活動活性化のため、部会長は最長 2 期を限度とする。

### 第 5 条 役員を選任

1. 部会長は、部会総会において選任し、支部長に報告する。
2. 幹事は、部会長が部会員の中から委嘱し、総会に報告する。
3. 顧問は、役員会が推薦し、総会に報告する。
4. 監事は部会長が推薦し、総会で承認を得る。

### 第 6 条 役員の仕事

1. 部会長は、部会を代表し、全般を総括し、必要に応じて日本技術士会東北支部の役員会で部会に関する意見を述べるができる。
2. 副部会長は、部会長を補佐し部会長に事故があるときは、その仕事を代行する。
3. 幹事は、部会の年次計画案を作成、実行、その他事務事項を担当する(部会員の連絡事項を含む。)

4. 監事は、部会の経理状況及び業務の執行の状況を監査する。更に、役員会に出席して職務に対する意見を述べることができる。

#### 第7条 会議の種類

本部会の会議は、総会、役員会とする。

#### 第8条 総会

1. 総会は定期総会及び臨時総会とし、部会長が召集する。
2. 定期総会は、原則として支部総会前に開催する。
3. 臨時総会は、次の各号に該当する場合に開催する。
  - ①役員会において必要と認めた場合
  - ②部会員の5分の1以上から会議の目的たる事項を示し請求があった場合
  - ③前項の規定により臨時総会を開く請求があったときは、部会長は、速やかに総会を招集しなければならない。
4. 総会の議長は部会長が務める。
5. 定時総会及び臨時総会は部会員をもって構成し、委任状等を含めて2分の1以上の出席がなければ開くことができない。

#### 第9条 総会の議事

1. 総会においては、この規約に規定するものの他、次の各号に示す事項を議決する。
  - ①前年度活動報告及び決算の承認に関する事項
  - ②年次活動計画及び予算の決定に関する事項
  - ③役員会において総会に付議する必要があると認めた事項
2. 総会の議事は、出席者の過半数をもって定める。

#### 第10条 規約の変更

本規約の変更は、役員会の3分の2以上の同意を以って発議し、総会において出席した部会員の3分の2以上の同意を以って成立する。

#### 第11条 役員会

1. 役員会は構成員の2分の1以上の出席を以って成立し、次の事項を審議する。
2. 役員会の議長は部会長が努める。ただし、都合で部会長の指名により一任された者が会議を推進することができる。
3. 役員会の内容は、その都度議事録を作成する。
4. 役員会に付議する事項は、部会の運営に関することを原則とする。

#### 第12条 部会活動

部会活動は、第2条の目的を達成するため、次の各号に掲げる活動を行う。

1. 本部会並びに他の部会との連携を図り、共通の課題に対する、討議、意見の交換及び行事の共催
2. 国、地方公共団体、民間等の国内の組織団体との技術交流並びに海外の科学技術関係の技術者との交流
3. 科学技術に関する調査並びに文献及び資料の収集
4. 科学技術に関する研修、講演会、見学会等の開催

- 5・専門技術により地域に貢献するため地方公共団体等からの相談・依頼があった場合業務を受託し行うことができる。
- 6．科学技術に関する情報の交換、新技術の修得及び意見交換等を目的とする行事の開催
- 7．部会員相互の親睦を図るための行事の開催
- 8．前各号に掲げるものの他、本部会の目的を達成するために必要な活動

#### **第13条 会費等**

年会費は当面の間、無料とし、各行事毎に参加費を徴収する。

#### **第14条 事業年度**

本部会の事業年度は、毎年4月1日から翌年3月31日とする。